

# いただきます

天童市立長岡小学校 食育だより 平成24年12月11日

**家族との食事、大切にしていますか！** 食べることは生きること。

給食週間の昼の放送で、4人の先生が食の思い出を紹介しました。

裏面には青山先生の放送原稿をそのまま掲載させていただきました。

子どもの頃の食の思い出は、一生の宝物となり得るようです。

教頭  
柏倉 充

テーマ「給食の  
思い出」



ぼくは、中学校・高校と、  
6年間、母の弁当を持って、学  
校に通いました。冷凍食品が  
入っていたことはありませんでした。  
朝早いのに、手作りのお弁当を  
用意してくれたことに感謝  
しています。

5年生担任  
柏倉 大樹

テーマ「お弁当」



わたしの思い出といえば、後悔の  
ひと言しかありません。自分の目の前の  
給食を作っている人のこと、肉や魚  
の命をいただいていることなど考えたこと  
もありませんでした。いただきますの意味  
を考えていけば、苦手なものへの考え  
も変わっていたのではないのでしょうか。

3年生担任  
沼澤 豊



テーマ  
「外食」

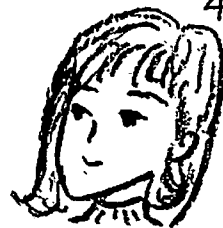
家族での外食といえば「おすし」もう、う  
れしくてたまりませんでした。でも今思うに  
おすしが大好きというより、みんなで出かけ  
ることがうれしくてまい上がっていたような  
気がします。家族で食べるのがごちそう...かな。

この放送があった日、  
無性に鍋がしたくなって、  
材料を買ったのはいいけど  
(みんな、いつ帰ってくるのかしら。)  
鍋をする時は家族が  
そろっている時。  
団らんの象徴ですから。

テーマ

「家庭料理の思い出」

4年生担任  
青山弘子



だんだん寒くなってきて、ちらほらと雪のたよりも聞こえるころになってきました。こんな季節になってくると、やっぱり食べたくなるのは鍋料理です。みなさんはいったいどんな鍋料理が好きですか？

今、スーパーに行くとたくさんの鍋料理のスープが売られています。数え切れないほどです。私が小さかった頃は、鍋物といえば、湯豆腐、寄せ鍋、水炊きと本当にシンプルな物ばかりでした。でも、「今日は鍋物にしよう。」って言われると、「やったー。」と本当にうれしくなったのを思い出します。私が特に好きだったのはすき焼きです。じっくり味のしみこんだ豆腐や白滝、白菜や春菊、葱などの野菜もたっぷりとることができます。

鍋奉行は昔も今も一家の主。昔はとても高価だった牛肉を父親が鍋に入れてくれて、「さあ、食べられるぞ。」と小鉢に取り分けてくれました。みんな、にこにこ笑顔になる瞬間です。外は、深々雪が降る寒い夜でも、家の中は鍋の湯気とみんなの笑顔、おいしいすき焼きで心も体もぼかぼかに温くなったものです。

今でも私は鍋料理が好きで、今の時期は1週間に1回か2回は鍋料理が食卓に上がります。(手軽にできるからと言う理由もあるのですが。)我が家の3人の子ども達も鍋料理が大好きです。さっきも言ったように本当に種類が多くなってきました。長女はトマト鍋やチーズ鍋、長男はキムチ鍋、二女はカレー鍋やちゃんこ鍋、そして私はやっぱりすき焼き。いろんな種類の鍋物がかわりばんこに登場します。そして鍋奉行はもちろん一家の主。(やっぱり仕切る人も必要です。)私たちは何の手出しもせず、(もちろん準備は私が担当ですが)取り分けてもらったのをおいしくいただきます。最後の締めもおいしい。たまごを入れておじや、うどんやラーメン、チーズをたっぷり入れてリゾットにすることもあります。先日はトマト鍋の後、オムライスにしてみました。これもおいしかったです。

子ども達も大きくなって、夕食時になかなか全員の顔がそろうということも少なくなってきましたが、みんなそろうと、みんなで一つの鍋をつつつきます。自然と話も弾む素敵な時間になります。私が子どもだった頃も、親になってからも、私にとっての一番の家庭料理は鍋料理だと思えます。

今夜も寒くなりそうです。さあ、今夜は何の鍋にしようかな。考えながら家に帰りたと思います。

みなさんも、おいしく、温かい家庭料理で笑顔になってくださいね。

もうすぐ冬休み。

クリスマスにおおみそか。お正月... 家族のシーズン？



年末年始のイベントを楽しみましょう。笑顔の食卓と共に...

